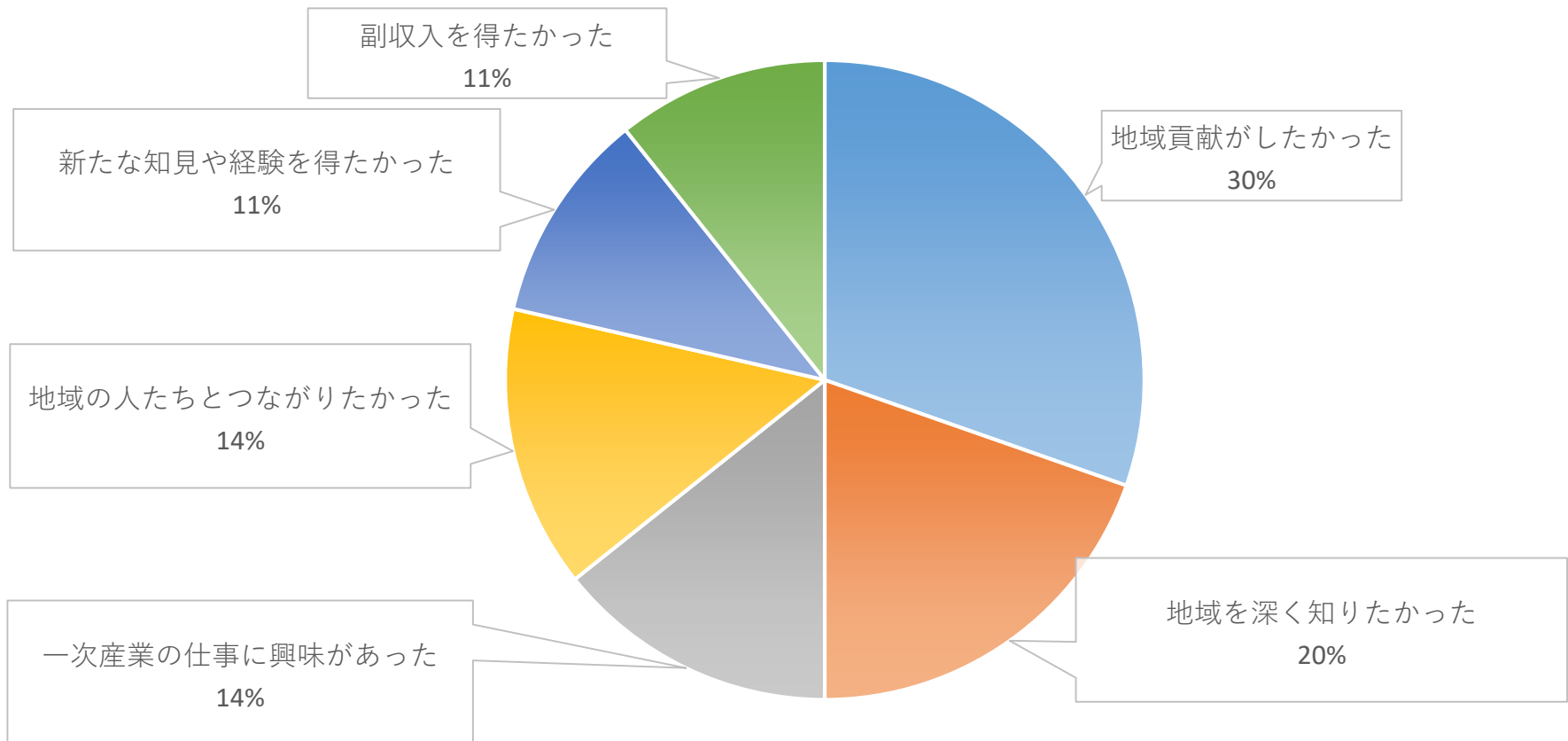




局内向けアンケート結果

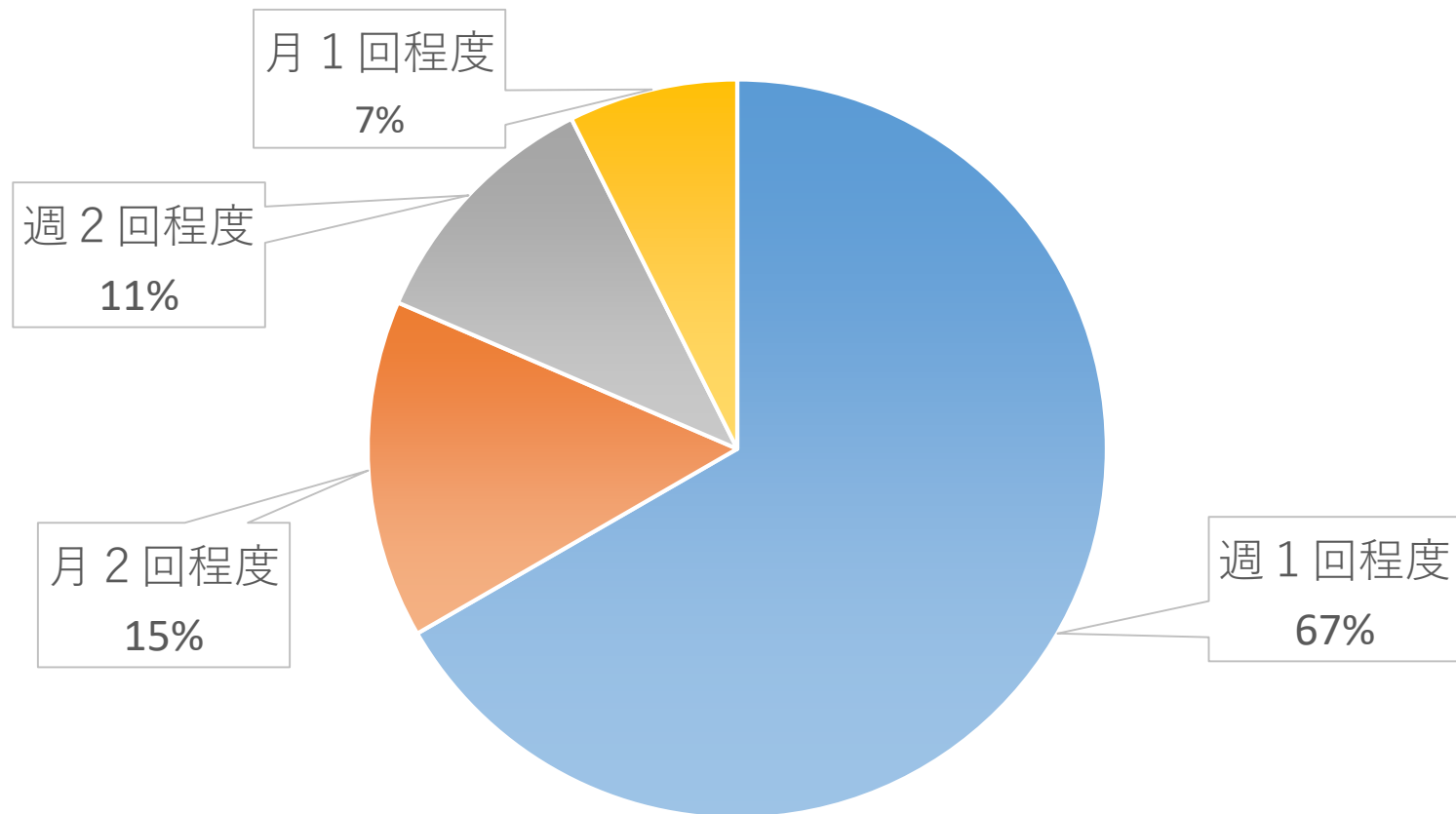
サポーター向け調査結果

(1) 副業に従事しようと思った動機について



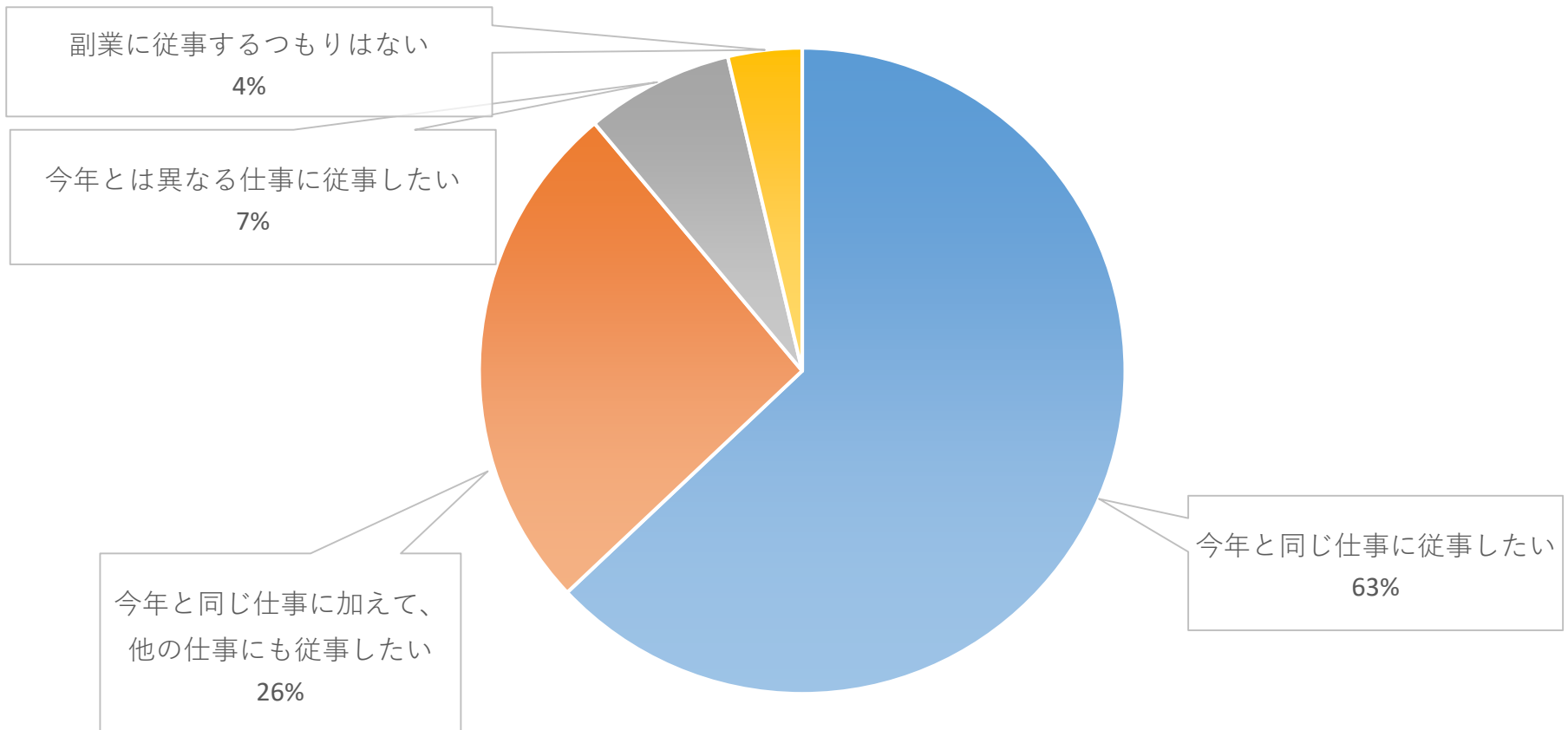
サポーター向け調査結果

(2) 副業に従事する理想の頻度について



サポーター向け調査結果

(3) 来年度の副業従事希望について



サポーター向け調査結果のポイント

- 受け入れ事業者がフレンドリーであったため、作業がしやすかった
- 振興局内の業務で関わることのない職員との交流を作れる良い機会であった
- 実際に従事すると朝早くから作業をしている一次産業事業者への感謝の気持ちが芽生えた
- 普段運動をする機会がないので健康増進に繋がると感じた

管理職向け調査結果のポイント

- 「所属職員の副業による業務への支障の有無」については、全員が「支障は出ていない」と回答した
- 「副業に従事した職員の公務執行能力への影響」では「変わらない」が9割を占めた

管理職向け調査結果のポイント

- 今まで縁の無かった土地に配属された若手職員は地域に溶け込める良い機会であると感じた
- 地域の産業や通常業務に関わりの無い分野の知見を広げられることはメリットである
- 若手職員は自分自身の業務マネジメントを管理できるようになってからでないと事業者の期待に応えるため無理をしてしまう場合があるのではないかと感じた



事業者向けアンケート結果

事業者向け調査結果のポイント

- 「本制度を利用しようと思った理由」では、
「繁忙期の人手が必要だったから」「振興局の職員と関わってみたかったから」という回答があった
- 「サポーター制度を利用した効果」では、
「人手不足が解消された」「人手不足が解消はされないが緩和された」「作業効率が上がった」という回答があった



課題点

サポーターの全体数に対する実働人数が少ない

- サポーター登録者110名に対して、
実働に至った職員は36名（32.7%）であった
- 事業者からの求人数に対して、
日にちによっては対応できない場合があった

マッチングが成立しない距離的問題

- 副業の実績があった6事業者はいずれも浦河町内で振興局近郊の事業者であった
- 他町も行ってみたいとの声があったが、シフト制となると現実的に厳しく、マッチングに至りづらかった

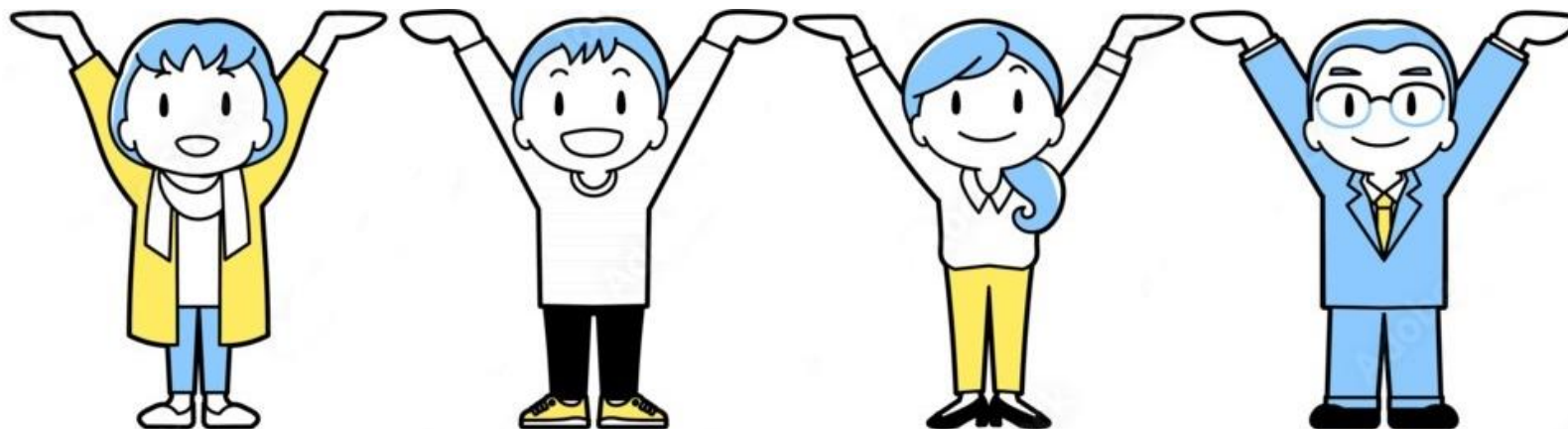


今後の展望

－ひだか地域の課題解決に向けて－

みんなで支える「持続可能な地域づくり」

日高地域の重要課題



地域おこし協力隊 広域連携 副業 官民連携 移住・ワーケーション 農福連携 高校生・若者